



エコリーフ

タイプⅢ環境宣言 (EPD)

登録番号：JR-AJ-22013E-A

SuMPO環境ラベルプログラム

一般社団法人サステナブル経営推進機構

東京都千代田区内神田1-14-8

<https://ecoleaf-label.jp>

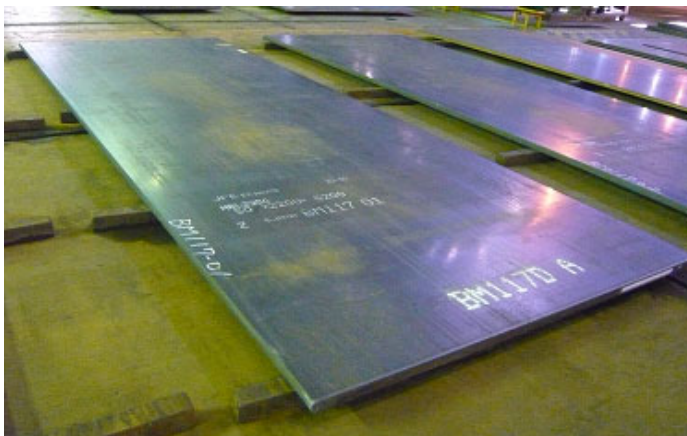


JFE スチール 株式会社

JFE Steel Corporation

建築構造用厚鋼板

(Steel Plates for Building Structures)



算定単位

1 t

算定対象段階

最終財 中間財

製造段階（原材料調達、原材料の輸送、製品の製造）
及び間接影響

製品の型式、主要仕様・諸元

製造サイト：東日本製鉄所（京浜地区）

西日本製鉄所（倉敷地区、福山地区）

主な規格：⑤算定結果に関する追加情報に示す

形状：厚鋼板

問い合わせ先

JFEスチール株式会社

建材企画部 [TEL:03-3597-4927](tel:03-3597-4927)

<https://www.jfe-steel.co.jp>

登録番号

JR-AJ-22013E-A

適用PCR番号

PA-180000-AJ-04

PCR名

建設用鉄鋼製品（中間財）

公開日

2022年8月1日

検証合格日

2023年7月20日

検証方式

個品別検証方式

検証番号

JV-AJ-23008

検証有効期間

2028年7月19日

PCRLレビューの実施

認定日等 2019年 10月 1日

委員長 松野 泰也

(千葉大学)

第三者検証者*

外部検証員 阿藤 崇浩

ISO14025およびISO21930に従った本宣言及びデータの
独立した検証

内部

外部

*システム認証を受けた事業者内の検証の場合は、システム認証を行っ
た審査員の名前を記載。

登録番号：JR-AJ-22013E-A



エコリーフ

タイプⅢ環境宣言 (EPD)

登録番号：JR-AJ-22013E-A

SuMPO環境ラベルプログラム

一般社団法人サステナブル経営推進機構

東京都千代田区内神田1-14-8

<https://ecoleaf-label.jp>

① ライフサイクル影響評価結果

影響領域	製造+間接影響※1	製造のみ※2	単位
気候変動 IPCC 2013 GWP 100a	830	1900	kg-CO ₂ eq
酸性化	-1.6	0.035	kg-SO ₂ eq
富栄養化	0.030	0.050	kg-PO ₄ ³⁻ eq

※1：①～③および⑤の合計 ※2：①～③の合計

内訳	項目	単位	合計	①原材料調達	②原材料の輸送	③製品の製造	④使用・維持管理	⑤間接影響
気候変動 IPCC 2013 GWP 100a	kg-CO ₂ eq	1.9E+03	7.2E+02	2.2E+01	1.1E+03	—	-1.1E+03	
オゾン層破壊	kg-CFC-11eq	4.6E-07	1.6E-07	1.4E-10	3.0E-07	—	-1.9E-07	
酸性化	kg-SO ₂ eq	3.5E-02	3.6E-01	1.5E-01	-4.7E-01	—	-1.6E+00	
光化学オキシダント	kg-C ₂ H ₄ eq	1.2E-02	6.2E-03	3.0E-03	2.3E-03	—	-2.3E-01	
富栄養化	kg-PO ₄ ³⁻ eq	5.0E-02	6.8E-06	1.3E-13	5.0E-02	—	-2.0E-02	

② ライフサイクルインベントリ分析関連情報

項目	単位
非再生可能資源	9.0E+02 kg
非再生可能エネルギー	3.0E+04 MJ
再生可能資源	1.0E+03 kg
再生可能エネルギー	1.4E+02 MJ
淡水の消費	1.6E+00 m ³

③ 材料及び物質に関する構成成分

項目	単位
鉄[Fe]	≥95.8 wt%
炭素[C]	≤0.25 wt%
ケイ素[Si]	≤0.65 wt%
マンガン[Mn]	≤2.50 wt%
リン[P]	≤0.050 wt%
硫黄[S]	≤0.050 wt%

④ 廃棄物関連情報

項目	単位
有害廃棄物	0.0E+00 kg
無害廃棄物	9.7E-01 kg

※ライフサイクルにおける廃棄物量を示しています。



エコリーフ

タイプⅢ環境宣言 (EPD)

登録番号：JR-AJ-22013E-A

SuMPO環境ラベルプログラム

一般社団法人サステナブル経営推進機構

東京都千代田区内神田1-14-8

<https://ecoleaf-label.jp>

⑤算定結果に関する追加情報

- ・ 間接影響として、JISQ20915に基づく鉄鋼材料のリサイクル効果を評価し、上表の⑤にその値を記載した。間接影響分は上記の表①～③の合計値に加算される。
- ・ 計算に使用したリサイクル率は93%（計算はJISQ20915に従い、2018年度の国内データ（出典：日本鉄鋼連盟、鉄源協会、スチール缶リサイクル協会）を使用）
- ・ 電力原単位は「電力、一般電気事業者10社平均、2014年度」を使用した。
- ・ 1次データは2018年度のデータを使用した。
- ・ 主な規格：【国土交通大臣認定品】HBL®385B-L,HBL®385B,HBL®385C,HBL®440B,HBL®440C,HBL®630B-L,HBL®630C-L,HBL®630B,HBL®630C,JFE-LY100,JFE-LY225,SA440B,SA440C,H-SA700A,H-SA700B,HBL®325B,HBL®325C,HBL®355B,HBL®355C
- 【JIS規格】SS400,SM490YA,SM490YB,SM520B,SM520C,SM570,SN400A,SN400B,SN400C,SN490B,SN490C,SM400A,SM400B,SM400C,SM490A,SM490B,SM490C
- 【EN規格】EN10025 S235,S275,S355,S420,S450,S460,S500,S550,S620,S690,S890,S960
- 【ASTM規格】A36,A572,A913,A1043,A1066,A1077

⑥-1.その他の環境関連情報

ISO14001認定工場で生産している。【福山】取得年月日：1998年3月2日、取得（登録）番号：E026、
 【倉敷】取得年月日：1997年10月2日、取得（登録）番号：E012、
 【京浜】取得年月日：1997年5月27日、取得（登録）番号：E010

⑥-2.有害物質に関する情報

項目	CAS No.	法令等
マンガン [Mn]	7439-96-5	労働安全衛生法、化学物質排出把握管理促進法
銅 [Cu]	7440-50-8	労働安全衛生法
ニッケル [Ni]	7440-02-0	労働安全衛生法、化学物質排出把握管理促進法
クロム [Cr]	7440-47-3	労働安全衛生法、化学物質排出把握管理促進法
モリブデン [Mo]	7439-98-7	労働安全衛生法、化学物質排出把握管理促進法
コバルト [Co]	7440-48-4	労働安全衛生法、化学物質排出把握管理促進法

⑦使用した二次データの考え方

IDEA v2.1.3 を使用した。また、スクラップ原単位（スクラップLCI）は原単位登録番号：JP-AJ-0001を使用した。

⑧備考

変更日：2023年8月2日 上流における二重計上及び外販プロセスガスの取り扱いを修正した。

- データ算定の方法は、PCRおよび算定・宣言規程を参照してください。
- 比較については、算定・宣言規程に規定された条件を満たした場合にしか認められません。
 （参照先URL：<https://ecoleaf-label.jp/regulation/>）

登録番号：JR-AJ-22013E-A